



センター NEWS

Wakayama
International
Exchange
Center
News

2025年2月発行



令和6年度和歌山県災害時避難所巡回訓練および多言語支援センター設置運営訓練 講義の様子

目次

- P 2 和歌山県災害時避難所巡回訓練及び災害時多言語支援センター設置運営訓練/日中交流奨学事業
- P 3 次世代への架け橋事業/親子で参加できる国際交流イベント「和の輪」
- P 4 WIXAS からのお知らせ（賛助会員募集）
- P 5 和歌山県内の国際交流活動/和歌山県庁からのメッセージ
- P 6 わかやま JICA ボランティア応援団通信
- P 7 こちら JICA 和歌山デスクです
- P 8 和歌山県国際交流センターイベントカレンダー

和歌山県国際交流センター

〒640-8319 和歌山市手平 2-1-2 和歌山ビッグ愛 8F 開館時間：水曜日・祝日・12月29日～1月3日を除く
毎日 10:00～18:30

Wakayama International Exchange Center

Business hours: 10:00 a.m.-6:30 p.m. Closed: Wednesdays, national holidays, December 29 to January 3
Address: 8th floor, Wakayama Big Ai Bldg., 2-1-2 Tebira, Wakayama City 640-8319

和歌山県災害時避難所巡回訓練及び 災害時多言語支援センター設置運営訓練

県内には現在 9,572 人の外国人の方々が居住されており、地震や災害の知識がなく災害を経験したことのない方も少なくありません。災害時、言葉も文化も違う外国人を支援するために、自治体職員として大切な心得や対応方法について学び、やさしい日本語や多言語ツール等を使って対応する「避難所巡回訓練」を実施しました。また別会場では、災害時外国人に適切な情報を多言語で発信するための「多言語支援センター設置運営訓練」を実施しました。

災害発生時様々な情報が混在する中、限られた時間の中で在住外国人や訪日外国人が最も必要な情報に優先順位をつけて選別する方法（トリアージ）や、その情報を近畿地域の国際化協会等と連携し迅速に翻訳し情報提供する方法、また Zoom を使った遠隔通訳相談を実施するための一連の流れを訓練で行いました。

災害時には、平時の備えが欠かせないことと、必ず連携が必要になること、災害を常に他人ごとではなく自分事としてとらえることが必要です。このような視点を忘れず、これからも毎年防災訓練を実施していきます。



避難所巡回訓練の様子



災害時多言語支援センター設置訓練の様子

日中交流奨学事業

最終回イベント 「松下幸之助と中国～AI と SDG s の架け橋」

2月2日(日)「松下幸之助と中国～AI と SDG s の架け橋」を実施しました。長年様々なテーマで開催してきた日中交流奨学事業のイベントが、山東省と友好提携40周年を迎えた今年度を節目に今回は最終回となりました。

最終回では、中国・内モンゴルご出身の潘 英峰 氏をお招きし、和歌山出身の松下幸之助氏が中国の改革開放政策にどのように関わり中国の経済発展や社会貢献に寄与してきたかについて、貴重な写真や資料を用いてご講演をいただきました。



講師：潘 英峰
(大阪大学 言語文化学博士)



中国茶を楽しむコーナー

イベントの後半では、中国茶コーナーと山東省コーナー、内モンゴルコーナーに分かれ、参加された皆様にそれぞれ中国茶文化、山東省及び内モンゴルの魅力を体験していただきました。

次世代への架け橋事業



次世代への架け橋事業として、ブラジルからチアゴアレシャンドレ シロ タニグチ君、ペルーからアリアナ ハツミ サウサ イナガキさんが来ました！二人の家族のルーツは、和歌山にあります。祖先の出身地訪問や、日本文化を学ぶためのプログラムなどに参加し、和歌山県内に3週間滞在しました。



チアゴ アレシャンドレ シロ タニグチ（日系4世）

アリアナ ハツミ サウサ イナガキ（日系4世）

グローバルセミナー「ブラジル・ペルーからふるさと和歌山にルーツを訪ねて」

1月25日（土）和歌山県国際交流センターラウンジで、2人をゲストスピーカーに迎え、グローバルセミナーを実施しました。同センターの日本文化ボランティアの方に着物の着付けをしていただき、二人とも着物姿で、それぞれの住むブラジルとペルーの文化紹介や家族のこと、学校生活、自分たちのルーツについて、写真を通して紹介しました。ブラジルとペルーに関するクイズや、参加者からの質問の際は、同センター通訳ボランティアの方に英語通訳をしていただき、県民の皆さまと交流を楽しみました。英語、スペイン語、ポルトガル語の行き交う文字通りグローバルなイベントになりました。



親子で参加できる国際交流イベント「和の輪」

2月9日（日）13時から15時30分、和の輪を開催しました。「和の輪」は、子どもたちが絵本とアートをきっかけとし、「様々な国の多様な文化」、「外国人を含む多様な人々との交流」の素晴らしさに興味を持つ機会づくりを目的とした多文化理解イベントです。今回のテーマは「ベトナムの旧正月テト」。テーマに沿った絵本のよみかかせをベトナム語と日本語で行いました。また、アートワークショップでは、お年玉袋づくり・人形塗りを楽しみました。他にもアオザイ試着体験や、ゲームも行い会場は大盛り上がりとなりました。今回のイベントは、在住ベトナム人らでつくる団体「国際交流ベトナムグループ」が和歌山県国際交流センターと共に企画・運営を行い、メンバーによる絵本や体験に合わせたダンスや民族衣装アオザイショーの披露もあり、本場ベトナムの旧正月テトの様子を再現してくれました。たくさんの在住ベトナム人親子も参加者として来られ交流を楽しみました。





WIXASからのお知らせ



●公益財団法人和歌山県国際交流協会（WIXAS）は 賛助会員 を募集しています。

和歌山県内の各分野での国際交流活動、国際相互理解及び国際協力を促進するとともに、在住外国人への支援を推進しています。ことば、民族、国境を越えて誰にでも開かれた地域社会づくりを図り、ひいては国際社会の平和と発展に寄与することを目的に活動しています。ぜひ当協会の活動にご賛同ください。

≪賛助会員≫会費 個人 3,000 円／年、団体 10,000 円／年、法人 30,000 円／年

★特典★：○当協会主催等のセミナーや研修会に優先的にご参加いただけます。

○センターニュースへの広告記載無料

（内容については「和歌山県国際交流協会広告掲載要項」に基づき要相談）

○セミナーや研修会情報誌のDM

◇令和6年度 賛助会員（令和6年10月現在）◇

i 愛句会	協和プレス工業 株式会社
株式会社 インテリックス	南海スチール 株式会社
株式会社 中井組	榎谷精工 株式会社
株式会社 南北	和歌山県日韓親善協会
株式会社 春風会	わかやま南北アメリカ協会
株式会社 和歌山新報社	等

皆様のご支援とご協力に
心より感謝申し上げます。

★和歌山県国際交流センターボランティア随時募集！

和歌山県国際交流センターでは、在住外国人をはじめとした異文化背景を持つ人々との相互交流、相互理解の促進を図るとともに、在住外国人の利便を図ることを目的にボランティア登録制度を設けています。

◇ご関心のある方は、和歌山県国際交流センターまでお問い合わせください。 E-mail [https:// wak-kokusai.jp](https://wak-kokusai.jp)

●登録条件●

- ①18歳以上で自発的に責任をもって行動できる方
- ②活動中に知りえた秘密・情報を守れる方
- ③和歌山県内に在住、または通勤・通学している方
- ④登録期間中、センターとEメール等で円滑に連絡が取れる方
- ⑤センターが実施する説明会及び研修会に参加できる方
- ⑥他のボランティアの方と協力して活動ができる方

●ボランティアの種類●

- ①翻訳・通訳
- ②ホームステイ
- ③文化紹介
- ④日本語
- ⑤情報収集提供

センターと協働し、ボランティア活動をしていただける方、私たちと一緒に活動しませんか？

ちょこっと図書情報



アフリカでバックの会社ははじめました
著者：江口絵里
発行：さ・え・ら書房



隣のアボリジニ
小さな町に暮らす先住民
著者：上橋菜穂子
発行：ちくま文庫



真夜中の小さな妖精
絵と文：シン・ソソミ
翻訳：清水佐知子
発行：ポプラ社

和歌山県内の国際交流活動



＝わがっこ日本語教室（和歌山から外国につながる子どもたち）＝

わがっこ代表 登録日本語教員 八巻由実子

「こんにちは♪」大きい元気な声、「こんにちは〜」照れくさそうな声、子供達が来ました。わがっこが始まります。準備に追われ既に疲れ気味の先生は、子供達の声でエネルギー注入、パワー全開です。

宿題は出来ましたか？ はい！

じゃ間違い直しをしましょう！ はい、はい！ 返事は1回よ。

今まで約10年、タイ・中国・ドイツなど15か国、小1から高3までの子供達が在籍してきました。母語が確立された大人の日本語学習と母語自体未熟な子供のとは違います。教科にも繋げる必要があり、簡単なことではありませんが、同じ境遇の仲間がいる場所があることは子供達にとって大切なのです。

成長して日本に来て良かったと思ってくれることを願っています。



（写真）教室での生徒たちのようす



教室についてのお問い合わせは和歌山県国際交流センターまで

和歌山県庁からのメッセージ

＝ 「拉致問題を考える国民の集い in 和歌山～拉致問題の早期解決を願って～」を開催 ＝

和歌山県では、令和7年（2025年）1月25日（土）に、ホテルアバローム紀の国において、「拉致問題を考える国民の集い in 和歌山～拉致問題の早期解決を願って～」を初めて開催し、多くの県民の方々にご参加いただきました。

本集いでは、横田めぐみさんの弟である横田哲也さんと、特定失踪者である辻與一さんの兄の辻太一さんが拉致被害者等ご家族の訴えを行ったほか、龍谷大学の李相哲教授が「トランプ政権で拉致問題はどうか」と題して講演を行いました。



拉致被害者等ご家族の訴えを行う横田哲也さん



拉致問題に関する講演を行う
龍谷大学の李相哲教授

また、和歌山県立古佐田丘中学校3年生の中垣偉雄さんが「悲しみをなくすためには」と題して意見発表を行いました。

拉致問題は、我が国の憲法に保障されている基本的人権の侵害はもとより、我が国の主権を侵害する極めて重大な問題です。和歌山県としても、早期解決に向け啓発に引き続き取り組んでいきます。

わかやま JICA ボランティア 応援団



応援団通信



<https://www.wakajicavo.com/>

● JICA 海外協力隊が学校へやってくるプロジェクトを実施しました



わかやま JICA ボランティア応援団は、国際協力事業等の授業を希望する和歌山県の小中高または大学等に JICA 海外協力隊の経験者を派遣し、授業を通して国際事業や海外の生活文化、海外のボランティア活動などの国際協力への理解を深めていただくプロジェクトを実施しています。

今回、新宮市立高田小・中学校を訪問しました。

対象者は生徒数に教職員、保護者を含め30人でした。

講師は松野桂子帰国隊員（インドネシア・青少年活動）です。

松野帰国隊員はインドネシアってどんな国ということでインドネシアでの活動を紹介しました。

最初は、インドネシアはたくさんの島でできている国でオランウータンなどの動物がいることや、ジャコウネコの糞から作られる高級なコーヒー豆、コピ・ルクアのお話から入りました。

そしてインドネシアは人口の87%がイスラム教、10.4%がキリスト教、ヒンズー教が1.7%、仏教が0.7%とそれぞれの生活文化は宗教文化によって習慣が違うお話もしてくれました。



松野帰国隊員は、東ジャカルタ市に住み、国立ハンダヤニ青少年リハビリセンターというところで親の影響で犯罪にかかわった子ども、人身取引の対象にされた子どもなど多岐にわたるカテゴリーの被害者の子どもたちの更生を目標にカウンセリング指導などの活動を行ってきました。

ほかにも自尊心を高める機会を提供するために、日本とインドネシアの伝統文化での交流など行くとともに、職業能力を身に付けるように

手工芸などの指導も行いました。

活動を通して子どもたちには外国の文化を知り多方面を見て新たな視点を持ってもらいたい、また、一方的なことを押し付けるのではなく、必要なことを取り入れ、インドネシアの文化を尊重し、融合させていくことの大切さを知ったとお話をしていました。

生徒からはインドネシアという国を知っているように思ったけれども、実際には一つ一つその国で撮った写真を見ていくとより深くインドネシアを知る機会になった。また青年海外協力隊に興味をもったと話してくれていました。講演会が終わってからも学生からの質問に答えていました。



Hamamas! こちらJICA和歌山デスクです ～ JICA国際協力推進員 からのお知らせ～

Topic 01

国際協力の日フェスタにブース出展しました

12月14日（土）に、和歌山県国際交流センターで開催された国際協力の日フェスタに出展しました。

JICAブースでは、JICA海外協力隊とコーヒーをテーマに、ルワンダ、インドネシア、コロンビアのコーヒーの飲み比べワークショップを行い、多くの方にご参加いただきました。ワークショップでは、コーヒー豆の味や香りの違いについて楽しく学ぶとともに、JICAによるルワンダコーヒーの品質改善や生産者支援などの取り組みを紹介しました。また、協力隊員の体験談も語られ、国際協力を身近に感じてもらうひとときとなりました。



Topic 02

3月の国際協力 イベント・出展行

○ JICA 海外協力隊帰国隊員展

期間：3月1日（土） - 3月9日（日）

場所：和歌山県立紀南図書館（田辺市）

○ 子ども海かいぎ ブース出展

期間：3月16日（日）

場所：和歌山県 JA ビル（和歌山市）

○ 動画で見る JICA 海外協力隊

期間：3月21日（金） - 3月25日

（火）

場所：和歌山駅西口地下広場

2025年はJICA海外協力隊発足

60周年です。



Topic 03

JICA 海外協力隊派遣状況（2025年2月末現在）

和歌山県
からは、
14名の隊
員が活動
中です。



2025年2月末時点 14名

Topic 04

お問い合わせ先

○ JICA 和歌山デスク

Mail : jicadpd-desk-wakayamaken@jica.go.jp

Facebook : <https://www.facebook.com/jica.wakayamadesk/>

○ JICA 関西

HP : <https://www.jica.go.jp/domestic/kansai/>

Facebook



3月

@外国人のための

「専門家による一日相談会」

在住外国人を対象に田辺市において外国人が抱える専門的な相談に対応します。内容は「法律」「在留資格・帰化」「労働・社会保険・年金」「教育」「女性（DV等）」などです。弁護士などの専門の方に相談することができます。

日時：2日（日）

13:00～17:00

（受付16:00）

場所：田辺市民総合センター

@創作こけし展

「世界中の仲間達」

和歌山県出身・群馬県在住のこけし作家さんの様々な国の国旗をイメージした「笑顔」あふれる作品が和歌山県国際交流センターにやってきます。同時にワークショップも開催。

●展示期間：13日（木）～

21日（金）

●ワークショップ

日時：15日（土）

午前：10:30～12:30

午後：13:30～15:30

対象：一般及び親子

各5組（1家族1個）

（親子は小学生以上でご家族同伴）

場所：和歌山県国際交流センター

@令和6年度

「和歌山県国際交流センターボランティア研修会」

（公財）大阪府国際交流財団 吉川友香氏による講演「多文化共生の地域づくりについて」があります。

講演後には新規登録者説明会を開催します。

日時：15日（土）

13:30～15:00

（新規登録者説明会は15:00～15:30）

場所：和歌山県国際交流センター

外国人のための生活相談

◇相談日時

・日本語・英語

水曜日以外の毎日

10時～16時

・フィリピン語・中国語

月・木・土曜日

10時～16時

・ベトナム語

木・日曜日

10時～16時

◇相談場所

和歌山県国際交流センター

TEL:073-435-5240

Consultation for Foreigners

◇Days and Time:

・Japanese, English

Everyday except

Wednesdays

10:00 a.m.~4:00 p.m.

・Filipino, Chinese

Mon, Thu, Sat

10:00 a.m.~4:00 p.m.

・Vietnamese

Thu, Sun

10:00 a.m.~4:00 p.m.

◇Place: Wakayama

International Exchange Center

TEL:073-435-5240

以外国人为对象的生活咨询

◇咨询日・咨询时间:

・日语, 英语

每天（除了周三以外）

10点 ~ 16点

・菲律宾语, 汉语

周一, 周四, 周六

10点 ~ 16点

・越南语

周四, 周日

10点 ~ 16点

◇咨询场所: 和歌山县
国际交流中心

TEL:073-435-5240

Konsultasyon para sa Dayuhan

◇Araw at oras:

・Hapon, Ingles

Araw-araw maliban tuwing

Miyerkules

10:00 a.m.~4:00 p.m.

・Pilipino, Intsik

Lunes, Huwebes, Sabado

10:00 a.m.~4:00 p.m.

・Vietnamese

Huwebes, Linggo

10:00 a.m.~4:00 p.m.

◇Lugar: Wakayama

International Exchange Center

TEL:073-435-5240

Dành cho người nước ngoài

Tư vấn đời sống

◇Thời gian tư vấn:

・Tiếng Nhật, Anh

Các ngày trong tuần trừ ngày

thứ tư

(Từ 10:00 am ~ 4:00 pm).

・Tiếng Philippines, Trung

Thứ hai, năm và thứ bảy.

(Từ 10:00 am ~ 4:00 pm).

・Tiếng Việt

Thứ năm, chủ nhật.

(Từ 10:00 am ~ 4:00 pm).

◇Địa điểm: Trung tâm giao lưu

quốc tế Tỉnh Wakayama.

TEL:073-435-5240

公益財団法人和歌山県国際交流協会（共同発行：和歌山県国際交流センター）

☎：073-435-5240 FAX：073-435-5243

URL：（公財）和歌山県国際交流協会 <http://wixas.wak-kokusai.jp>和歌山県国際交流センター <https://wak-kokusai.jp>